

4 医療相談

窓口では、医療に関する様々な相談を受けている。

切り傷などで軽微なものは、消毒薬の塗布・傷テープの支給で処置しているが、受診が必要な者には大阪社会医療センターに診療の依頼を行っている。また、冬季、インフルエンザの流行時などに、ポケットティッシュや簡易マスクの配布を行い、併せて衛生に関する啓発を行った。

2006(平成 18)年度は傷テープの配布 9,503 件、軽微な処置 539 件、ポケットティッシュの支給 12,010 件、診療依頼 6,906 件、歯科など医療センターに診療科目がない場合の他機関案内 590 件、救急車による搬送 32 件であった。(表Ⅱ-9)

5 労働者援助

(1) 短期宿泊援助

仕事に就くことができなかつたり、働いた賃金が受け取れないなどの事情で困っている労働者に対し、1967 年(昭和 42 年)より宿泊と食事の提供を大阪自彊館(三徳寮)に依頼している。

2006(平成 18)年度は、相談数 2,139 件、措置依頼 1,393 件、宿泊件数 1,381 件であった。

別途、大阪府簡易宿所生活衛生同業組合の協力により、1999 年(平成 11 年)8 月から簡易宿所への無料宿泊紹介を行っている。2006(平成 18)年度は一日 6 名を限度に 723 件の紹介を行った。

(2) 疾病援助

困窮している労働者に対し、衣類、洗面セット、使い捨てカイロなどの物品 31,809 件の援助を行った。支給している衣類は、寄贈されたものを利用するとともに、下着類は購入している。2006(平成 18)年度の古着の寄贈は 4 件あった。

また、NHK 歳末たすけあい募金より、あいりん地区現地懇談会を通じ、下着・ティッシュ等の寄付をいただいた。

なお、冬季に配布したカイロは、購入したものの他、桐灰化学株式会社より 2 回にわたって 68 ケース(16,320 個)の寄贈を受けたものを合わせて配布した。

(3) 生活援助

就労・賃金受領・労災手続等を行うために必要な交通費に困っている労働者や、その日の食事代や宿泊費が不足している労働者に対し、実費程度の少額の金銭援助を行っている。

2006(平成 18)年度の相談数は 382 件で、措置は 238 件であった。これには三重県四日市市の日章および栄建工業の倒産に伴う措置 30 件を含んでいる。(表Ⅱ-9)

(4) 労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

「労働関係相談」は、就労に必要な事業所の住所・電話番号を調べたり電話を貸す等が 687 件、雇用保険の相談が 367 件であった。

「建設業退職金共済制度（建退共）」は、建設関係に就労する現場労働者の退職金制度で、2006(平成 18)年度は、建退共制度の案内 244 件、手帳作成相談 202 件、更新・再交付を含む手帳作成手続援助が 60 件あった。なお、手続援助は 2000 年(平成 12 年)7 月から行っており、累計で 581 名の労働者が新規に手帳を手に入れている。

「生活身上相談」は、住民登録のための相談が 780 件あり、153 件の請求手続を援助した。

住民票の移動や設定は、雇用保険日雇労働被保険者手帳を作ることを目的に行われる場合が大半を占めてきたが、近年は高齢化を反映し、高齢者特別清掃登録や生活保護受給等に関連して行う場合も増えている。2006(平成 18)年 12 月に、釜ヶ崎解放会館等で住民登録をしている者への住民票抹消（職権消除）問題が発生したため、12 月～3 月に限れば住民票相談は昨年度の 2 倍近くにのぼった。

手続きに際しては、以下のような困難がある。

- ① あいりん地域に来るまでの過程で、本籍や住民票登録地の記憶があいまいになっている。
- ② 長期不在のため職権消除されていて、郵便などで二度三度のやりとりが必要。
- ③ 失踪宣告による除籍や、本人の知らない間に養子縁組を何度もされていたこともある。
- ④ 遠隔地への郵便による請求にあたっては、身分証明書の写しの提出を求められる等、本人確認が厳しくなっている（身分証明書が何もない場合が多い）。
- ⑤ 住民票抹消問題発生以後は簡易宿泊所が転入の受け皿とされているが、継続的に泊るおカネが無い高齢者等には「宿泊証明書」の取得が簡単ではない。等々

健康保険の送付手続きは、遠隔地に出張している労働者が帰阪し、資格確認の手続きを行ったものの、取次ぎに一日かかるため、出張先へ保険証を送って欲しいという要望にもとづいたものである。雇用保険・健康保険手帳取得者の減少に伴い、送付手続きも減少傾向にあり、2006 年度は 83 件となった。

「住宅相談」は 109 件であった。従来から住宅相談の一つとして「単身者向け UR 住宅（旧公団住宅）」への入居案内を行なっているが、2005(平成 17)年 11 月に起きた耐震強度偽装事件の影響で UR 住宅も耐震強度調査が必要になり、地域労働者がよく入居申し込みをする住宅なども募集停止となり、相談件数は半減した。

「その他」は、センター業務の説明や他施設・機関に関する案内、「インターネットで調べてほしい」「地図をコピーしてほしい」「爪切りを貸してくれ」など日常生活を補うさまざまな要望のほか、飲酒者への対応 601 件を含め 8,105 件であった。（表Ⅱ－10）

主な業務の歴年推移は、図Ⅱ－3のとおりである。

6 労働者福利厚生

労働者の文化、娯楽に資するため、9月5日(火)に府立淀川工業・工科高等学校吹奏楽部を招いて、萩之茶屋南公園(三角公園)で「たそがれコンサート」を開催した。約1,000名の労働者が懐かしのメロディーなどの演奏に憩いの一時を過ごした。

たそがれコンサートは1981(昭和56)年より実施され、府立淀川工業高等学校吹奏楽部の演奏は、1990(平成2)年から行われている。(1989(平成元)年は、雨天のため中止)

また、10月23日(月)には27名の参加を得て「将棋愛好者のつどい」を開催した。この「つどい」は1981(昭和56)年から開催しており、1992(平成4)年より日本将棋連盟の森信夫七段の指導を受けている。

地域労働者の福祉のため、年2回、シャワー室の無料開放を行っている。2006(平成18)年度は、夏は8月21日(月)～25日(金)の5日間(利用者1,269名)、冬は12月26日(火)～28日(木)と1月4日(木)～5日(金)の5日間(利用者800名)であった。

なお、無料開放時には、タオル・石けん・カミソリの給付を行っている。

7 広報・啓発活動

求人求職情報・労働安全衛生面の啓発・生活健康役立ち情報の普及を図るため、月刊の広報紙「センターだより」を2,500部作成し、事務所窓口や寄り場の中央詰所で配布している。また、地域諸団体には持参してつながりを深め、関係行政機関へは送付し、情報発信力や協働の拡大に努めている。

編集に当たっては労働者の声を多く反映させることにより、労働者が親しみやすく、読みやすい紙面作りに努めている。2006(平成18)年度は現場(作業現場・宿舎)および地域の動きのルポ、健康・安全衛生問題での取り組み報告や啓発、「建退共」加入啓発の記事などを掲載した。年間の主要掲載記事は、表Ⅱ-11のとおりである。

また、仕事や生活に役立つと好評の『労働者便利帳』2007年版を12月に発行し、6,000部配付した。

2006(平成18)年度 医療、緊急措置相談状況

(表Ⅱ-9)

	医 療 相 談								緊 急 措 置 相 談												
	傷テープ	処置	マスク	ティッシュ	診療依頼	他機関 案内	救急車 依頼	合計	短期宿泊(自強館三徳寮)					簡宿 紹介	疾 病 援 助				生 活 援 助		
									相談	応募	依頼	宿泊	返戻		衣類	洗面セット	カイロ	合計	相談	措置	返戻
4月	649	43	580	1,550	655	45	3	1,395	224	186	141	140	124	66	27	206		233	46	22	14
5月	731	50	280	1,550	701	39	1	1,522	375	321	137	136	88	77	29	210		239	25	14	6
6月	774	38		940	638	76	1	1,527	180	156	132	134	108	64	33	196		229	28	13	7
7月	738	39		510	563	39	5	1,384	153	136	112	112	94	64	24	173		197	19	7	2
8月	801	47		530	534	40	1	1,423	144	120	107	107	99	34	66	140		206	18	12	10
9月	741	37		490	492	41	5	1,316	107	90	87	87	82	59	61	145		206	18	16	8
10月	729	46		580	536	48	3	1,362	156	131	121	118	100	63	48	181		229	48	38	11
11月	786	40		780	565	59	0	1,450	157	134	118	117	101	61	96	180		276	30	17	12
12月	832	45	185	1,020	512	68	3	1,460	140	120	104	102	86	45	52	145	5,124	5,321	32	16	10
1月	953	55	380	1,220	590	53	2	1,653	183	148	122	118	109	59	30	176	9,219	9,425	42	27	9
2月	874	39	580	1,230	512	39	0	1,464	141	108	94	92	88	61	133	148	8,179	8,460	41	27	13
3月	895	60	615	1,610	608	43	8	1,614	179	152	118	118	111	70	83	187	6,518	6,788	35	29	22
年度合計	9,503	539	2,620	12,010	6,906	590	32	17,570	2,139	1,802	1,393	1,381	1,190	723	682	2,087	29,040	31,809	382	238	124
前年度合計	10,378	574	1,300	11,180	7,614	692	15	19,273	1,941	1,601	1,328	1,316	1,086	692	328	2,002	25,680	28,010	373	161	93
前年度比	-8.4%	-6.1%	101.5%	7.4%	-9.3%	-14.7%	113.3%	-8.8%	10.2%	12.6%	4.9%	4.9%	9.6%	4.5%	107.9%	4.2%	13.1%	13.6%	2.4%	47.8%	33.3%
前々年度合計	9,851	493	0	7,400	8,032	819	17	19,212	2,335	1,885	1,279	1,268	992	630	636	1,904	25,020	27,560	541	166	84
前々年度比	-3.5%	9.3%		62.3%	-14.0%	-28.0%	88.2%	-8.5%	-8.4%	-4.4%	8.9%	8.9%	20.0%	14.8%	7.2%	9.6%	16.1%	15.4%	-29.4%	43.4%	47.6%
年度計画	12,000		12,000		8,000	720					1,400			700	2,400		25,000	27,400		180	

※ 医療相談の合計には、マスク・ティッシュは含まれていない。

2006(平成18)年度 労働関係、生活上相談状況

(表Ⅱ-10)

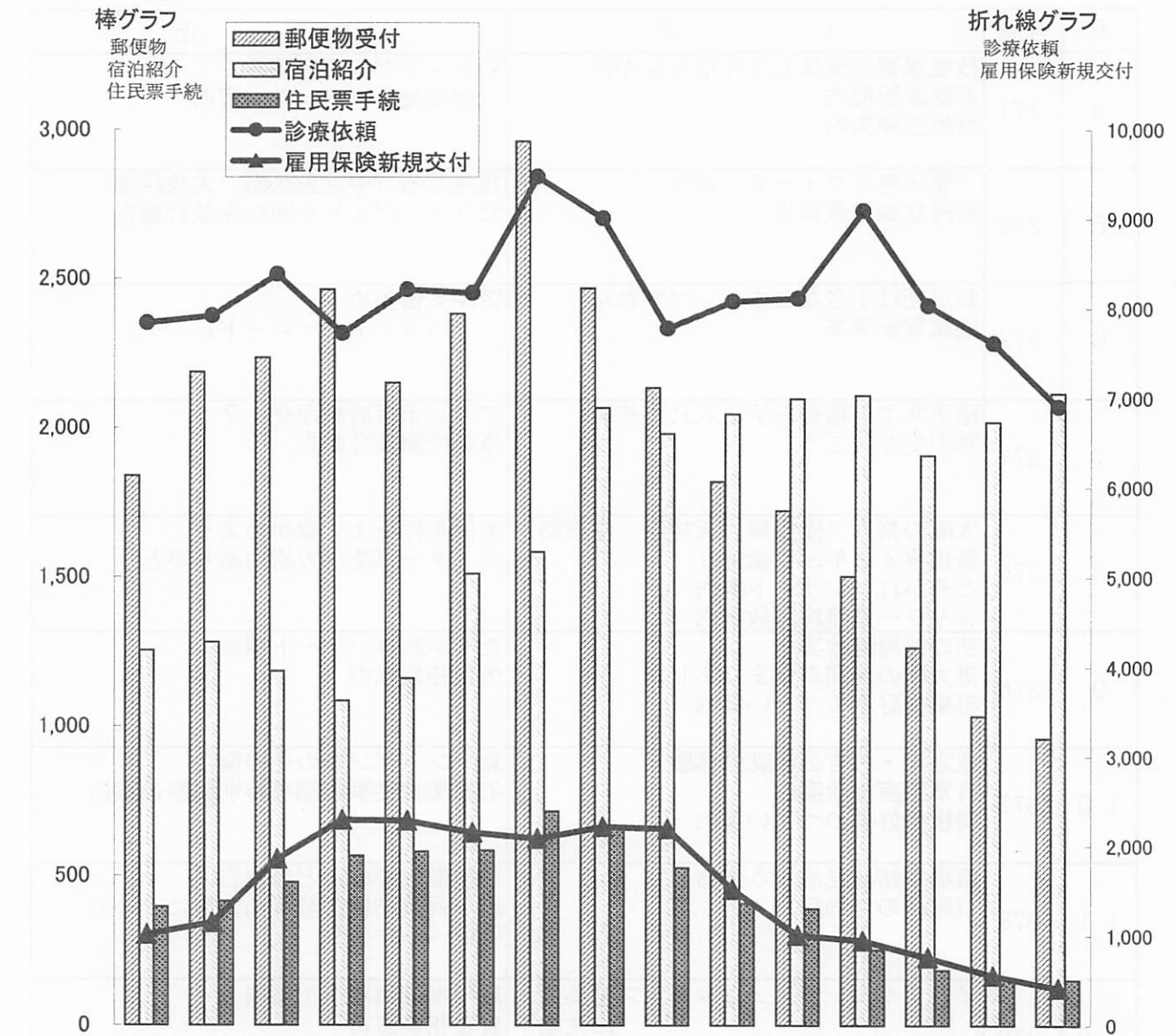
	労働関係相談								生活上相談											その他			
	就労 関係	雇用保険		建退共手帳			合計	合計	戸籍住民票		健保・年金		住宅 相談	所得 証明	郵便物受け渡し		尋ね人	落し物	合計	合計	飲酒者	総合 案内	その他
		相談	手続	案内	相談	手続			相談	手続	相談	手続			相談	手続							
4月	84	31	1	37	27	8	179	9	65	20	27	10	22	1	78	81	15	7	296	30	68	191	328
5月	60	24	0	25	23	8	132	8	64	17	31	8	12	0	92	92	9	11	311	25	66	255	323
6月	54	33	2	14	12	1	113	3	66	21	18	6	4	1	112	97	18	6	322	27	60	263	322
7月	41	30	0	21	13	3	105	3	33	7	27	9	11	0	58	73	11	6	219	16	47	234	258
8月	42	30	0	11	10	0	93	0	40	10	24	3	5	0	74	74	9	10	236	13	47	237	426
9月	43	24	0	19	17	7	103	7	35	10	20	3	7	0	63	58	7	5	195	13	50	205	426
10月	56	42	3	18	15	4	131	7	57	12	34	8	6	1	81	77	6	5	267	20	49	233	489
11月	40	31	0	12	10	4	93	4	52	13	22	7	3	1	78	71	14	8	249	20	44	212	414
12月	47	28	1	18	15	7	108	8	52	11	26	5	15	1	86	82	5	7	274	16	50	280	435
1月	64	28	1	24	22	8	138	9	83	6	31	6	9	0	84	80	7	3	297	12	46	219	454
2月	61	36	1	28	23	8	148	9	102	11	30	9	8	0	71	65	6	9	291	20	34	181	401
3月	95	30	1	17	15	2	157	3	131	15	28	9	7	0	84	101	9	9	369	24	40	219	499
年度合計	687	367	10	244	202	60	1,500	70	780	153	318	83	109	5	961	951	116	86	3,326	236	601	2,729	4,775
前年度合計	1,071	411	19	267	185	51	1,934	70	730	156	350	88	220	19	1,035	1,051	115	48	3,568	244	790	2,300	3,802
前年度比	-35.9%	-10.7%	-47.4%	-8.6%	9.2%	17.6%	-22.4%	0.0%	6.8%	-1.9%	-9.1%	-5.7%	-50.5%	-73.7%	-7.1%	-9.5%	0.9%	79.2%	-6.8%	-3.3%	-23.9%	18.7%	25.6%
前々年度合計	1,381	636	16	392	239	100	2,648	116	902	186	396	97	242	13	1,265	1,155	44	72	4,089	283	775	495	4,642
前々年度比	-50.3%	-42.3%	-37.5%	-37.8%	-15.5%	-40.0%	-43.4%	-39.7%	-13.5%	-17.7%	-19.7%	-14.4%	-55.0%	-61.5%	-24.0%	-17.7%	163.6%	19.4%	-18.7%	-16.6%	-22.5%		
年度計画	1,500			240					180		100	240			2,400								

※ 建退共手帳作成手続は、更新・再発行を含む。

※ ①2004年11月より総合案内を計上。②2006年8月より「その他」にはツメ切りを計上。

主な労働福祉業務の歴年的推移

(図Ⅱ-3)



年度	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
郵便物受付	1,839	2,188	2,235	2,463	2,152	2,382	2,961	2,468	2,135	1,820	1,723	1,503	1,265	1,035	961
宿泊紹介	1,255	1,282	1,185	1,087	1,162	1,511	1,584	2,068	1,981	2,047	2,098	2,110	1,909	2,020	2,116
住民票手続	397	416	478	568	581	585	716	662	527	408	391	254	186	156	153
診療依頼	7,839	7,917	8,379	7,721	8,211	8,171	9,474	9,010	7,780	8,081	8,114	9,093	8,032	7,614	6,906
雇用保険新規交付	1,015	1,149	1,853	2,291	2,282	2,148	2,081	2,215	2,192	1,519	1,010	950	763	559	417

<注釈> 郵便物受付とは、生活身上相談の郵便物を受理した件数
 宿泊紹介とは、緊急措置相談による短泊依頼数。1999年以降は、簡宿紹介数との合計数
 住民票手続とは、生活身上相談の住民票手続件数
 診療依頼とは、大阪社会医療センターへの診療依頼券の発行枚数
 雇用保険新規交付とは、あいりん職安が発行した、雇用保険日雇労働被保険者手帳の新規交付数

2006(平成18)年度 センターだより主要掲載記事一覧

(表Ⅱ-11)

月	号数	1 面	2 面
4	371	技能講習を受講したみなさんの声 石綿講習案内 特掃登録案内	新レントゲン車登場! 「歴史発見ウォーク」案内
5	372	「歴史発見ウォーク」報告 特掃登録者数報告	花見ごろ(中之島公園、大泉緑地) センターだよりを囲む座談会報告
6	373	わが社は小さなゼネコンですねん 地域貢献事業	アルミ缶集め (カントリーロード)
7	374	建退共で退職金を手に入れたぞお 熱中症を防ごう	アブレ手帳激減なぜ!? 事業所懇談会報告
8	375	大阪の祭り(愛染祭、天神祭、住吉祭) 新世界42年ぶり盆踊り たそがれコンサート案内 シャワー室無料開放案内	労働条件をよく確かめよう センター事業への協力ありがとう
9	376	初の飯場健診実施 東大阪の仲間が集まりました 将棋愛好者のつどい案内	たそがれコンサート報告 労災相談案内
10	377	住之江・住吉公園就労体験 日章倒産相談案内 将棋愛好者のつどい案内	新レントゲン車のその後 石綿業務従事離職者特別健診の案内
11	378	飯場で結核発病どうする? (結核の豆知識)	将棋愛好者のつどい報告 越年対策結核健診事前実施について 特掃ペンキ塗り
12	379	インフルエンザ・ノロウイルス感染症 に注意! べんりちょう配布案内 淀工が金賞	越年南港臨時宿泊案内 賃金相談窓口 石綿業務従事離職者特別健診受付延長 年末年始の関係機関窓口業務状況
1	380	全国の雑煮 カイロ配布案内 べんりちょう配布案内	理事長あいさつ クロスワードパズル
2	381	あいりん地域の防災を考える 日章倒産に伴う立替払い	住民票問題講演会 石綿業務従事離職者特別健診の結果 クロスワードパズル回答と当選者 センターガードマン3巡目は抽選
3	382	2007年度特掃登録案内(さし絵) 短泊・簡宿の案内	職人不足をどうする 自主映画のエキストラに130人が雇用

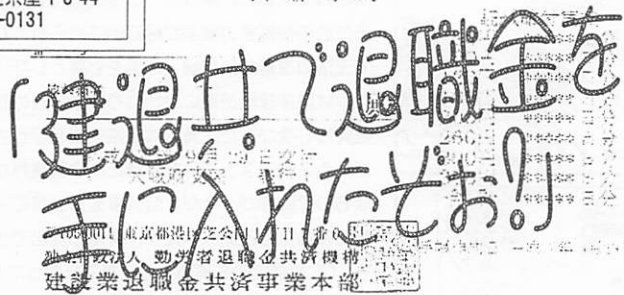
(常設記事) ・求人情報 ・技能講習案内
 ・森先生の詰め将棋
 ・建退共手帳預かっています
 ・投稿 ・釜ヶ崎日誌
 ・『カマヤん』・結核検診日程
 ・およびだし ・たずね人

●号外
 (6. 1) センター周辺案内(修正版)
 (7. 20) 熱中症に注意!
 (8. 20) たそがれコンサート案内
 (11. 1) 将棋愛好者の集い案内

センターだより

第374号
2006年7月15日発行
(財)西成労働福祉センター
大阪市西成区萩之茶屋1-3-44
・06-6641-0131

建設業
退職金共済手帳
(掛金助成)



～喜びのHさんの事例紹介～

建退共とは建設業退職金共済制度の略称です。たまたまその手帳を作っていて、最近78万円を手にした幸運な事例を紹介します。読者のみなさんもあきらめず、「まずは手帳をつくる」ことから始める気持ちになっていただければうれしいです。



「こんなおカネをもらえるなんて予想もしなかった」という思いをしているのはHさん(橋梁職工、62歳)。昨年秋季に大阪の建設下請け会社で労災となり退職したのち、貯金を取り出すしながらか生活してきました。が、家賃も払えなくなっていました。

Hさん「何年か前に仕事仲間から『会社が建退共手帳をすすめてみたい』と言われたのをきっかけに覚えようと思った。

でも労災のこともあって会社には直接聞きづらいし、手帳自体を見たことがなかった。センターの窓口で相談して調べてもらったんや。そしたら、意外なことがわかったんや」

実は元請が以前からHさんの建退共手帳も作成していて、5年分の証紙も貼ってあったのです。

「センターを仲介したやりとりの中で、会社との気まずい関係もこたえたと喜びHさん。よかったですね。」

「センターが、これだけではなかった!」

「そういうえば、それ以前に関東のT県で就労した時代もあったなあ。もしかしたらそれも・・・」念のためにセンターから当時の会社や建退共T支部に電話して調べてもらったところ、これもみごとに受給できることが判明。

大阪支部で手続き可能なこともわかり、センター職員から請求手続きの支援を得て、合わせて78万円をゲット!

Hさん「使い道?仕事にいけないくて部屋代がたまっていたのを待ってもらった。まずはその支払いに当てた」そのうえで、貴重な生活のつなぎ資金となったもよう。

手帳づくりの相談は、センター労働福祉系の窓口で! あいりん地区をベースに建設の仕事をしている労働者に、手帳作成のお手伝いをしています。

また、制度の説明や加入事業所の案内もしています。お気軽におこください。

受付9時～10時 選考10時～ 午後説明会				
車両系(整地ほか用) 大特免許所持者は対象外 5日間	7月20日(木)	30人	8月2日(水)～6日(日)	
刈払機 安全衛生・送迎・1日間	7月25日(火)	20人	8月8日(火)	
車両系(解体用) 車両系(整地ほか用)所持者 送迎・1日間	7月27日(木)	20人	8月18日(金)	
職長・安全衛生責任者 事業所の証明書要 安全衛生・2日間	8月1日(火)	10人	8月21日(月)～22日(火)	
玉掛 3日間	8月3日(木)	30人	8月28日(月)～30日(水)	

熱中症を防ごう!

重症度Ⅰ度

- めまい、立ちくらみがある
- 汗がふいてもふいても出てくる
- 筋肉のこむらえりが痛い

水分・塩分を補給しましょう

重症度Ⅱ度

- 頭がががする(頭痛)
- 吐き気がする・吐く
- 身体がだるい。(倦怠感)
- 判断力・集中力が低下する

足を高くして休みましょう
水分・塩分をとりましょう
とれなければすぐに病院へ

重症度Ⅲ度

- 意識がない
- 体がひきつける(痙攣)
- 体温が高い
- 呼びかけに対し返事がおかしい
- 真直ぐに歩けない・走れない

水や氷で体を冷やしましょう
(首・脇の下・足の付け根など)
すぐに救急車を要請する

けんたいきょうていよう
建退共手帳
預かっています

6月末日までに申し込まれた方は、福祉係窓口まで! 建退共加入事業所の案内も、窓口でしています。

森先生の
詰め将棋
(七手詰)

▲持駒 飛金
▲持駒 王角歩
▲持駒 銀
▲持駒 玉

答えは裏面に掲載

6月の求人数		対前月 増減比	前年同月 増減比
現金(日払い)	50,287名	7.2%	-3.7%
契約(延べ数)	40,348名	43.3%	75.0%
センター窓口	7,024名	62.1%	46.5%
高齢者清掃	5,564名	5.1%	9.7%

求人情報

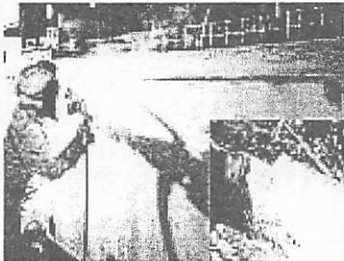
現金求人とは昨年度にくらべて若干減少している。天候が安定しないので、仕事を控えている様子が見受けられる。控えた分、飯場への入居をうながす契約求人数は大きく増加している。

特に、早朝時の奇場では鉄筋工の求人が多く、業者からは手ができない、どうなっているのかとの苦情も多く聞いている。工事日程は鉄筋工事のあと建て方ははじまるので他の職種の現金求人増加が見込まれる。梅雨明けのからっと晴れた日が待ち遠しい。



高齢化・引退 熟練職人も団塊の世代？！

ここ数年建設現場において、鉄筋工・鷹工・仮枠大工等の熟練職人層不足が叫ばれて久しい。原因の一つは高齢化した職人層の引退であり、その穴を埋めるための技術者の継承が組織的に計られてこなかったことにある。また、一方で工法の改善が熟練職人の手を必要としない現象も生み出していた。大手ゼネコンは直接建設現場にかかわりが無いとの理由で、職人層を育てるための費用を負担しなかった。負担は直接現場を担当する中小の建設会社や名義人クラスが負うようになっていた。ただ、建設業界が好況時にはこの負担もさほど大きなものではなかったが、公共事業抑制策による建設業界の経営危機は職人層を育てる余裕を現場に与えず、費用も捻出できなくなっていた。ある鷹専門業者も、「これまでなら鷹職人の仕事でなかったPC板での床はりや側壁の設置も、いまでは鷹の仕事になっている。仮枠大工の仕事はこのため大幅に減少した。鉄筋工も現場で最初から鉄筋を組む工法だけでなく、鉄骨を工場で事前に作成し、運ばれた材料を組み立てることも多くなっている。職人層を実地で育てる現場が少なくなっている」と述べている。

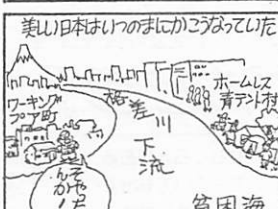


センター窓口にもこの間、特に首都圏から職人層の求人が多く見られるようになった。また、各地で建設職人の不足が工期を遅らせる原因にもなっていると、業者が悲鳴をあげているとも言われている。

このまま座視しているなら建設業界に未来はないと、大阪府建団連はこの事態を打開するため建設技能者（職人）の社会的地位向上と待遇改善に本格的に取り組むと公表した。その一環として、大阪府建団連は4月には「人材の高齢化と若手入職者の減少が進む」現状に対応するため、自ら「職人学校」の設立を発表した。

職人育成のために業界も本格的に取り組みだしている。

カマヤん ありあけ



結核健診

健診日程

- 3月 20日 センター南側 (午後2:30 ~ 4:00)
- 4月 3日 センター北側 (午前10:00~12:00)
- 10日 医療センター南側 (午前9:00 ~ 10:30)
- 17日 センター南側 (午後2:30 ~ 4:00)

【連絡先】

大阪市保健所分室
(更生相談所3階)
電話6632-2600

【市民健診日程】

3月の健診は終了しました
西成区保健福祉センター
(区役所2階)
午前9時半~10時半まで
無料と希望診療(有料)あり

自主映画の「エキストラ」に130人が「雇用」される

「ときにはこんな仕事もおもしろいなあ」と参加者の声。
歴史上有名な絵画や写真をパロディ風に再現するアーティスト、森村泰昌さんの最新作品撮影が3月2日夜にホームレス就業支援センター（三角公園西側）中庭を借りて行われました。
ロシア革命で演説するレーニンとそれを取囲む民衆に扮する「仕事」です。謝礼金3千円とワンカップをもらって夜間緊急宿泊所にもどる高齢労働者たちのうれしそうな姿が印象的でした。作品公開は6月にベネチアであり、日本公開は12月だそうです。楽しみですね。



「宿命 十四」	越冬が続く	西成あいらんの里	わしり日雇の出番かも	行かねばならぬと	思いつつも足腰が重く	のしかかる日々かも	これぞ	日雇労働者の宿命か	ゆえに	今日こそ行かねば、と	心に誓いつつも	今日も路上生活の日々かも	「宿命 十五」	吹いて吹きぬく冬の風	身にしみろ寒さなり	これぞ	人生の落し物を	さがす季節かも	カバンを肩に	酒を片手に	過ぎゆく今宵の夕暮れなり	早く眠りつきたいなり	萩之茶屋 孝行	温暖に	一刻歩む	梅の咲き	潮	患年
---------	-------	----------	------------	----------	------------	-----------	-----	-----------	-----	------------	---------	--------------	---------	------------	-----------	-----	---------	---------	--------	-------	--------------	------------	---------	-----	------	------	---	----

詰将棋の回答

- ◎桂が活躍
- ▲9五歩△9三玉▲8五桂△8四玉
- ▲7六桂△同香▲7三馬まで。初手
- ▲8五金は打ち歩詰め。

猿渡	酒井	坂倉	貴	赤司	井上	文彦	寺崎	厚男	長谷川	山中	矢野	花岡	諸喜田	幸秀	長谷川	久雄	労働相談窓口まで
和夫	謙介	富男	栄一	文彦	文彦	文彦	寺崎	厚男	久雄	久雄	久雄	久雄	久雄	久雄	久雄	久雄	久雄
31	45	46	44	44	55	57	47	80	68	51	36	59	27	55	33		

()内は出身地、年齢(敬称略)
[9月1日~2月10日受付分]

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】

(表Ⅱ-12)

年 度	新規求職者数	年度末有効求職者数	保険金給付実人員 (各月平均)	給付延べ日数
2000(平成12)	2,192	14,062	9,726	1,343,017
2001(平成13)	1,519	12,710	9,397	1,311,069
2002(平成14)	1,010	10,491	8,224	1,149,711
2003(平成15)	950	9,027	7,067	991,085
2004(平成16)	763	7,356	5,632	780,987
2005(平成17)	559	5,696	4,322	590,184
2006(平成18)	417	4,203	2,889	380,729

健康保険取扱状況【玉出社会保険事務所】

(表Ⅱ-13)

年 度	被 保 険 者 手 帳				年度末 有効手帳	受 給 資 格 者			証 計	受給資格 確 認	傷病手当 件 数
	新規	更新	再交付	計		新規	更新	再交付			
2000(平成12)	1,203	5,137	830	7,170	7,301	825	4,734	627	6,186	43,480	350
2001(平成13)	911	4,810	676	6,397	6,676	609	4,442	543	5,594	40,954	326
2002(平成14)	549	4,039	520	5,108	4,957	476	5,491	431	6,398	33,371	257
2003(平成15)	491	3,352	372	4,215	4,043	331	2,779	291	3,401	29,031	197
2004(平成16)	351	2,641	347	3,339	3,152	260	2,145	261	2,666	21,897	122
2005(平成17)	249	1,989	234	2,472	2,262	193	1,711	193	2,097	16,936	93
2006(平成18)	191	1,346	178	1,715	1,636	132	1,171	148	1,451	11,135	61

日雇労働者福利厚生措置事業状況

(表Ⅱ-14)

年 度	夏 期			冬 期			合計支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
2000(平成12)	16,900	12,683	214,342,700	18,400	12,749	234,581,600	448,924,300
2001(平成13)	16,900	12,461	210,590,900	18,400	12,012	221,020,800	431,611,700
2002(平成14)	16,900	10,724	181,235,600	18,400	9,840	181,056,000	362,291,600
2003(平成15)	16,900	8,948	151,221,200	18,400	8,401	154,578,400	305,799,600
2004(平成16)	16,900	7,516	127,020,400	18,400	7,208	132,627,200	259,647,600

※ 2005年度(平成17年度)以降、取り止め。

Ⅲ 施設管理運営事業

Ⅲ 施設管理運営事業

1 日雇労働者福祉施設の受託経営

日雇労働者の就労斡旋並びに福祉の向上を目的に建設された、あいりん労働福祉センターの管理運営を大阪府から受託している。

受託事業の内容は、労働施設の機能を維持すること、及び福利施設の経営である。

労働施設の具体的な機能としては、就労斡旋施設や日雇雇用保険・健康保険認定事務のための、労働者の待合施設としての機能の維持である。

福利施設の運営に関しては、食堂・売店・理髪店・シャワールームなどの経営委託の他、小間割売店への施設貸付業務を行い、低廉で行き届いたサービスがされるよう委託業者等の指導を行うことにより、施設利用労働者の福利厚生を図った。 (表Ⅲ-1、2)

(1) 施設管理業務

あいりん労働福祉センターのシャッターの開閉業務、娯楽施設の適正な利用、受電設備等の維持管理、防火管理、衛生管理、施設内の秩序維持、場内指導等の日常業務を適正に行い、日雇労働者福祉施設の機能維持を図った。

管理室を訪問した労働者 月平均 113名

(2) 福利施設事業者等への指導

食堂・売店・シャワールームや理髪店等の委託業者及び小間割売店の業者に対して指導を行い、施設利用労働者の福利厚生向上を図った。

食堂・シャワールーム等の委託業者 5業者 6店舗
小間割売店の業者 15業者 16店舗

(3) 環境美化業務

あいりん労働福祉センターの環境美化を図るため、日常清掃、消毒、放置自転車の整理、落書きの始末等を行った。

放置自転車の整理 日平均 157台
自転車の処理(撤去) 年間 28台
落書きの始末 月平均 5件

(4) 事故対策業務

シャッター閉鎖時の妨害・暴行傷害行為への対応、焚火の始末、設備等破損の修復、便所・下水の詰まり等への対応措置を行った。

職員への業務妨害・暴行傷害 年間 142件

(5) 労働者救護業務

あいりん労働福祉センター内において、負傷・疾病労働者の救護や泥酔者の緊急保護を行った。

月平均 6名

2 あいりん労働福祉センター特別清掃事業

(表Ⅲ-3)

あいりん労働福祉センターの環境美化と、就労機会の減少している地区高齢日雇労働者の就労機会の確保を図るため、特別清掃事業を実施した。

月平均 600名

2006年度（平成18年度）

あいりん労働福祉センターにおける事案の発生と措置状況

（表Ⅲ-1）

事案の内容	年間数	月平均	前年度	前々年度
負傷者・病人の救助	77名	6名	77名	69名
盗難事件の措置	1件	—	2件	1件
変死者の措置	3名	—	1名	1名
消火活動・焚火の始末	18件	1件	33件	18件
場内放置自転車の処理 (撤去)	28台	2台	189台	179台
落書きの始末	62件	5件	66件	56件
シャッター閉鎖時の妨害 職員に対する暴行・傷害	142件	11件	160件	187件
泥酔者の連れ出し	12,663名	1,055名	11,534名	11,237名
設備等の破損	137件	11件	132件	149件

2006年度(平成18年度)

あいりん労働福祉センター利用状況

(表Ⅲ-2)

施設区分		施設委託業者 (5業者6店舗)		小間割売店 (15業者16店舗)	
月別	年度	利用延人数	営業日数	利用延人数	営業日数
4月	2005年度	64,694	171	27,398	329
	2006年度	48,626	161	25,677	309
5月	2005年度	63,392	156	25,224	331
	2006年度	60,362	145	22,239	322
6月	2005年度	50,846	177	23,449	338
	2006年度	75,946	178	22,294	328
7月	2005年度	75,158	162	23,016	332
	2006年度	65,883	164	22,312	323
8月	2005年度	69,826	177	25,780	328
	2006年度	66,780	177	23,854	326
9月	2005年度	68,665	164	27,152	332
	2006年度	67,066	162	23,330	322
10月	2005年度	72,291	169	28,216	338
	2006年度	60,857	171	24,860	338
11月	2005年度	66,990	163	26,825	329
	2006年度	67,052	166	22,540	329
12月	2005年度	50,839	149	25,389	322
	2006年度	55,402	153	23,780	333
1月	2005年度	57,683	148	23,423	297
	2006年度	52,407	154	20,619	317
2月	2005年度	60,658	157	24,756	297
	2006年度	58,278	155	21,395	318
3月	2005年度	60,226	175	26,830	318
	2006年度	69,682	175	28,193	336
計	2005年度	761,268	1,968	307,488	3,891
	2006年度	748,341	1,961	281,093	3,901
前年対比		-1.7%	-0.4%	-8.6%	0.3%

※ 上段は2005年度(平成17年度)、下段は2006年度(平成18年度)

2006年度（平成18年度）

あいりん労働福祉センター特別清掃事業 作業員就労状況

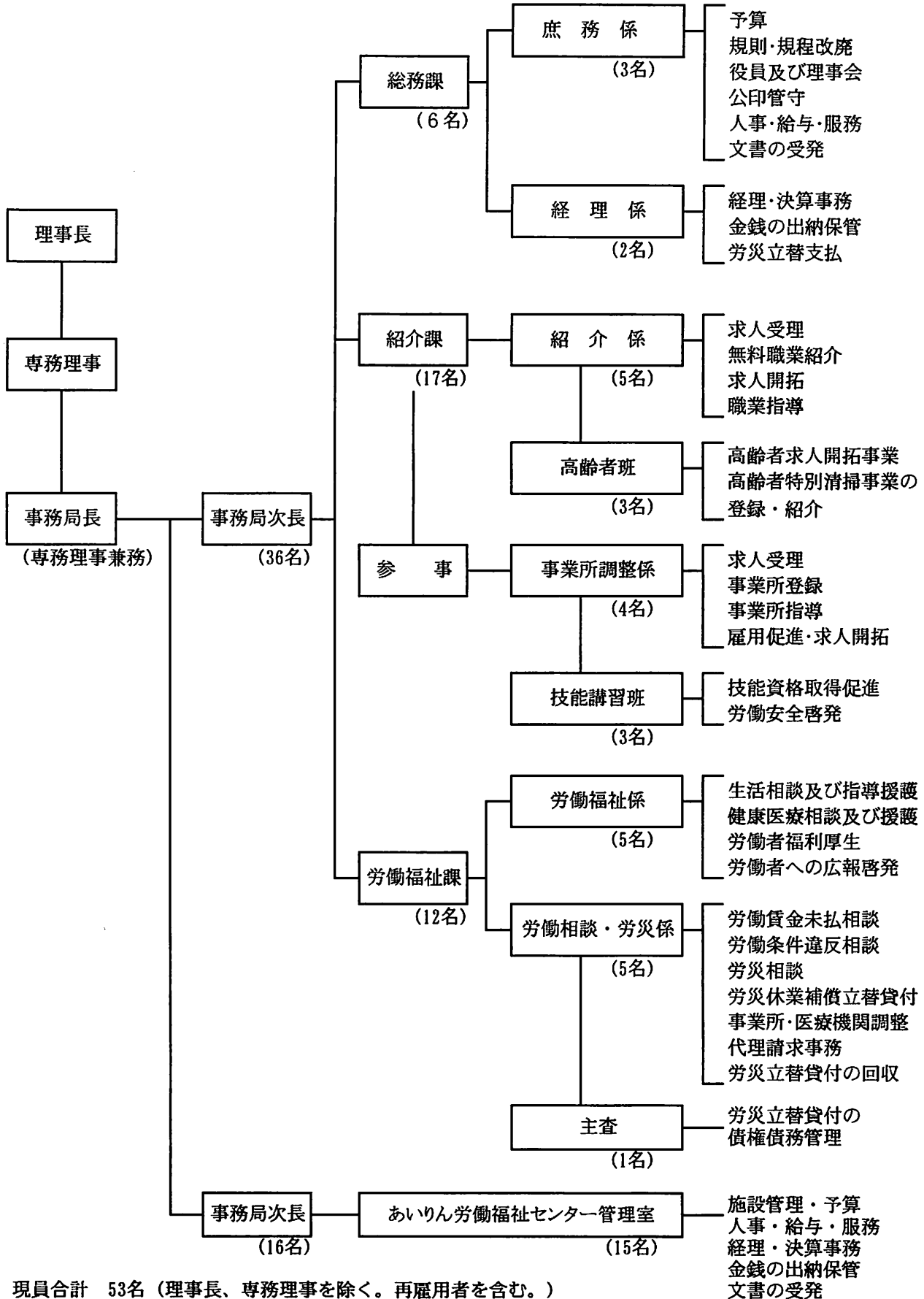
（表Ⅲ-3）

	就 労 者 (人)	不 就 労 者 (人)	合 計 (人)
4月	600	0	600
5月	620	0	620
6月	600	0	600
7月	617	3	620
8月	617	3	620
9月	599	1	600
10月	620	0	620
11月	598	2	600
12月	599	1	600
1月	560	0	560
2月	558	2	560
3月	617	3	620
合 計	7,205	15	7,220
前 年 度	7,200	20	7,220
前々年度	7,169	51	7,220

組 織 図

平成19年4月1日現在

(分 担 事 務)



現員合計 53名 (理事長、専務理事を除く。再雇用者を含む。)

沿 革

1961 (昭和 36) 年 8 月 1 日	釜ヶ崎事件
1961 (昭和 36) 年 9 月 1 日	大阪府労働部西成分室開設
1962 (昭和 37) 年 9 月 28 日	無料職業紹介事業許可 (労働省収職第 1420 号)
1962 (昭和 37) 年 10 月 1 日	財団法人西成労働福祉センター設立
1962 (昭和 37) 年 12 月 17 日	第 1 回事業主懇談会
1963 (昭和 38) 年 6 月 10 日	求職の登録制度開始
1964 (昭和 39) 年 9 月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
1965 (昭和 40) 年 4 月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
1966 (昭和 41) 年 4 月 1 日	労災立替貸付業務開始
1966 (昭和 41) 年 6 月	釜ヶ崎を「あいりん地区」と呼称
1970 (昭和 45) 年 10 月 1 日	あいりん総合センター開所 (事務所移転)
1970 (昭和 45) 年 12 月 30 日	求職の登録制度廃止
1972 (昭和 47) 年 8 月 1 日	大阪府労働部に特別対策室設置
1974 (昭和 49) 年 6 月 28 日	事務局組織改正 (3 部制を 4 課 6 係制に)
	労働相談窓口専門化
1975 (昭和 50) 年 8 月	日雇労働者福利厚生措置、財団で取扱開始
1976 (昭和 51) 年 11 月 1 日	事業所登録制度始める
1977 (昭和 52) 年 11 月 28 日	第 1 回就労正常化促進週間実施
1978 (昭和 53) 年 1 月 30 日	「センターだより」創刊
1978 (昭和 53) 年 6 月 12 日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980 (昭和 55) 年	「労働者便利帳」発行
1981 (昭和 56) 年 3 月 5 日	「将棋愛好者の集い」を開催
1981 (昭和 56) 年 6 月	窓口紹介、集中公開方式始める
1981 (昭和 56) 年 9 月 3 日	第 1 回たそがれコンサート開催
1983 (昭和 58) 年 5 月 18 日	事務局組織改正 (4 課 8 係)
	事業所係、労働相談係設置
1989 (平成元) 年	日雇 (現金) 求人数センター発足以来最高の年に
1991 (平成 3) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
1993 (平成 5) 年	技能講習 (ガス溶接、アーク溶接) 開始
1994 (平成 6) 年 11 月	特別清掃事業実施 (大阪府・市)
1995 (平成 7) 年	技能講習 [車両系 (整地、解体)] 開始
1997 (平成 9) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
	紹介課高齢者班設置、労働福祉課労災係管理班廃止
2000 (平成 12) 年 4 月 1 日	あいりん地区日雇労働者厚生事業開始
2000 (平成 12) 年 4 月 13 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 3 班)
	労働福祉課労災係労働安全班設置
2001 (平成 13) 年 4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
	紹介課事業所調整係技能講習班設置、労働福祉課労働相談・労災係設置
	紹介課労働相談班廃止、労働福祉課労災係及び労災係労働安全班廃止
2001 (平成 13) 年 6 月 29 日	厚生労働省から日雇労働者技能講習事業を受託
2001 (平成 13) 年 11 月 1 日	あいりん労働福祉センター管理室を移管統合

守 ろ う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 かな 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財団法人 西成労働福祉センター

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋一丁目3番44号

求 人 : 06-6632-3200 高 齢 者 班 : 06-6633-7998

技 能 講 習 : 06-6641-0325 (技) FAX : 06-6641-0320

労 働 福 祉 : 06-6641-0296 相 談 労 災 : 06-6634-6535

総 務 : 06-6641-0131 F A X : 06-6641-0297

管 理 室 : 06-6632-1552